

令和7年 網走市議会  
総務経済委員会会議録  
令和7年7月28日(月曜日)

○日時 令和7年7月28日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 行政視察について

○出席委員(6名)

委員長	石垣直樹
委員	井戸達也
	小田部照
	深津晴江
	村椿敏章
	山田庫司郎

○欠席委員(2名) 澤谷淳子  
立崎聰一

○議長 松浦敏司

○傍聴議員(4名) 里見哲也  
永本浩子  
平賀貴幸  
古田純也

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	本橋洋樹
総務議事係長	和田亮
総務議事係	平間公稀

午前10時00分開会

○石垣直樹委員長 ただいまから、総務経済委員会を開催いたします。

まず初めに、本日の委員会ですが、澤谷委員、立崎委員からの欠席の届出がありましたので御報告いたします。

まず、委員会の前に冒頭でございますが、7月15日の総務経済委員会におきまして、委員長である石垣直樹、私が無断で欠席したことについて、おわび申し上げます。申し訳ございませんでした。

この件につきまして、委員の皆様から何かございましたらお願いします。

○山田庫司郎委員 何かありましたらではなくて、委員長の気持ちをきちっと話してください。

○石垣直樹委員長 気持ちというところですが、経緯について御説明いたします。

7月15日に委員会を開催する予定でございましたが、すっかり予定が携帯のスケジュール管理から漏れておりまして、失念しております。お電話等いただいていたのですが、携帯を離れた状態でちょっと仕事をしておりますと、昼過ぎに気づいたというような状況でございます。この件につきましては、委員長であるにもかかわらず、欠席してしまったことに対して、委員会の皆様には、すぐお電話で説明と謝罪を申し上げたところでございます。二度とこのようなことがないようにしたいと思っております。

以上です。

○山田庫司郎委員 こういうことはですね、私も長い間議員をさせていただいていますが、初めての経験です。これ本当に大きな問題です。招集をした委員長が欠席をすると。また、事情で副委員長が不在ということもありまして、本来ですと、副委員長がまた変わって運営もできたのかもしれません、結果的に皆さんを集めておいて、流会になったのです。これは大きな責任ですよ。私から言わせれば、委員長をやめるべきだと思います。

いかがですか。

○石垣直樹委員長 今、山田議員から委員長やめるべきだという御意見をいただきましたが、ほかの委員は何かございませんか。

それでは、暫時休憩したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは暫時休憩いたします。

午前10時04分休憩

午前10時25分再開

○石垣直樹委員長 休憩前に引き続き再開いたします。

○井戸達也委員 今日の委員会についてですけれども、行政視察についてということで招集されておりますので、先ほど山田委員のほうから、委員長に対する責任の取り方という発言もありましたけれど

も、まず、その前にこの行政視察についての案件をしっかりととまざみんなで決めた上で、その件については、改めてということで執り進めていただきたいと思います。

○石垣直樹委員長 そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ただいま井戸委員の御発言がありましたように、休憩中も種々御議論いただきました。先ほどの件につきましては、今日は一旦置いておくという形で議事のほう進めさせていただきたいと思いますがよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、行政視察について入りたいと思います。

まず、視察先と視察項目について16か所候補を挙げていただきました。私からも数か所挙げましたので、御説明いたします。

まず、福岡県福岡市、創業支援FUKUOKA GROWTH NEXTという施設でございますが、これは福岡市が行っているスタートアップ向けの施設でございます。札幌市にももう20年前ぐらいから、インキュベーション施設とかあるのですけれども、福岡のGROWTH NEXTにつきましては、新規に創業する方と出資する方を会わせるというか、機会を持つような施設となっております。

例えば、プランですか事業とかをピッチするような場所を設けてみたり、各種イベントを行われていて、今若者たちの創業に向けてすごい勢いがある施設というところで一度、網走市議会も地域の活性化ために、見てはどうかなということで挙げさせていただきました。

次は、宗像市の陸上養殖でございます。ここから豊前市、八千代市、南九州市の四つの陸上養殖があるのでけれども、網走はホタテの稚貝がつい死したということもございました。またアキアジが取れたり、取れていないと。漁業の柱はアキアジとホタテ漁というのが金額的には大きい部分でございまして、この3本目の柱として、今全国的、全道的にも広がっている陸上養殖について、私たちの知見を深めるべきということで4社挙げさせていただきました。なかなか連絡がつかない養殖業者もあつたりします。立派な施設でやっているところと、簡易な施設でやっているところというのを挙げさせていただきまして、網走は雪が降るという問題もありますが、それらを含めても今、国のほうで補助金をたく

さん出しておりますので、もう一つの3本目の柱となりうる可能性について見ていただきたいなと思って提案させていただきました。

最後に熊本県熊本市の台湾のTSMCの半導体工場視察でございます。

北海道にもラピダスができて、国産の新しい世代の半導体製造を進めておりますが、こちらに関しては、台湾から誘致したのですよね。国際的なトップシェアを誇る半導体の企業を熊本に誘致したと。誘致する前からどのような活動をして、誘致が実現されて、町がどう変わって、今後どうしていくのかと。そういう流れを網走市も参考になる部分あると思いますので、見てきて話を聞いてというような案でございますが、なかなか工場視察というのは実はできないらしくて、ここがある菊陽町という自治体も、職員がいなくてなかなか対応できないと。視察できるとしたら、熊本県のほうへ行けばお話しは聞けると。だけれども、工場には行けないような状況ですので、話しか聞けないのかなというところでございます。私の提案したのは6件でございます。

以上のような形となります。

ほかの議員からも小田部議員と深津議員から提案いただいておりますので、説明していただければと思います。

○深津晴江委員 それでは、私からも何点か提案させていただいています。

まず、山梨県甲府市の甲府城周辺地域活性化計画整備事業についてです。これは平成26年度から令和9年度までということで、単年度の進行形の計画ではありますが、甲府市はお城を中心として、町とか人とかのつながりがあって、交流を通してにぎわいを取り戻しているということで、やはり網走市のシンボルって何かなって難しいかと思うのですけれども、にぎわいを創出っていうところで、網走も課題の一つかと思いますので、これについて視察できればなというふうに考えております。

二つ目に、福井県福井市の福井プロモーション事業なのですが、これは令和2年から5年度の事業になっております。福井市は皆さんも御存じだと思うのですが、北陸新幹線が通りまして、それを福井市のイメージの発信と認知度の向上のためにということで、作っているプロモーション事業になっております。網走も高規格道路をどうやって活用できるものなのかなどうなのかというところも含めて、視察に行ければなというふうに考えております。

次に福井県大野市の水への恩返し事業ということを挙げさせていただきましたが、これについては、この大野市が、やはり水への感謝を込めてっていうような事業がありますので、網走市の水はおいしい水というところが売りの一つになっているかなというふうに思いますので、この視察もどうかと考えました。

次に、新潟県新潟市のDXプラットホーム推進事業ということで、これは令和4年度に終わっている事業になっております。デジタルトランスフォーメーションDXの付加価値の向上や新規事業創出を図って、地域の経済を活性化する事業になっておりますので、その具体的なことについて、視察できればと考えております。

次の新潟県上越市の観光地域づくり実践事業についてなのですが、これは令和5年までの事業でした。上越市も観光交流ビジョンとして、来訪者との交流を楽しむことのできる観光地域づくりを進めるということを目的にやっていまして、まずは観光客ではなく、地元の事業所・人たちがお互いにいいところを気付きとして得る場として作って、講座ですか、ワークショップを通じているということと、あとSNSの活用というところもやっているということですので、これについても、視察できればというふうに考えました。

以上です。

○石垣直樹委員長 ありがとうございます。小田部委員お願いします。

○小田部照委員 私のほうからは外国人労働者の受け体制について、視察項目として挙げさせていただきました。網走でも古くから外国人の労働者が活用されております。どんどん人口減少、そして、人手不足というのが全国的に深刻化する中で、ますます今後、外国人の労働者というの必要になってきます。拡大している傾向に網走ももちろんあります。そういう状況の中で、やはり、共存していくのに様々なトラブルも網走でも聞こえてくるし、先日、何か実習生が事件を起こして逮捕されてしまったみたいな報道も実際ありました。やっぱりいろいろな状況、外国人の受け入れとともに、共生していくかなくてはいけない社会をつくっていくという意味でも、いろいろな先進地を視察をさせていただきたいと思いまして、たまたま今回は、静岡県浜松市、群馬県大泉市、北海道函館市等を挙げさせていただきましたが、この外国人の労働者の受け入れっていうのは、

結構先進的に進めているところ、全国的幾つもあるので、僕、これ以前から委員会で、この行政視察に関しては思っていて発言させてもらっていることが、やっぱり限られた資金で行くので、どうしてもやっぱりいろいろな九州や昨年で言えば、沖縄に行ったのに、二泊三日で、弾丸日帰りで行きました。これ予算がないからしようがないですって、結果的にはそうやって強行でやったのですけれども、やはりちゃんと実のある視察にしたいので、やはりその場所、あまりそんな無理して遠くまで行かなくても、そういう見られるところがあれば深津委員、石垣委員長のほうからあったように、調整しながら。僕の場所は別にこだわっていません。ほかにもあるので、三泊四日をちゃんと安定した視察の内容で、行程で組めるようなやり方をして調整していただきたいなと、今挙げたとこにこだわるのではなく調整することが、必要なのだろうなと思っているので、ぜひお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

○石垣直樹委員長 ただいま深津委員と小田部委員からお話をございました。小田部議員からもございましたが、挙げたところにこだわらずしっかりと実のある視察となるようにしていきたいと思いますが、ほかの委員からこの件につきまして何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ行程や相手先との調整がありますので、一旦、正副のほうで預かり、事務局と調整を進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

次に、視察日程についてですが、文教民生委員会が10月6日の週に行政視察を実施する予定であるため、総務経済委員会はその週以外の実施となります。

日程について御意見ありますでしょうか。

○深津晴江委員 お願いしておりますが極力早い段階で、9月30日出発ぐらいでも可能かなというふうに思っております。できるだけ早くお願いできればと考えております。

○石垣直樹委員長 ほかにございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

できるだけ早くという御意見ございました。候補地の受け入れが可能かどうかというのもございますので、この件につきましても一旦、正副に預からせて

いただいて、まず、深津委員と相談をしながら、進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほか、何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、何もなければこれをもちまして、総務経済委員会を終了いたします。

---

午前10時38分閉会